

“就職力”

3



見えない自分と出会う

会える「かもしれないこと」

自分を理解する手段としては、①自分自身で自己理解を試みる②他者からのフィードバック③適性検査や性格分析などがあ

ります。自己理解の手法を三回にわたって紹介します。

まず一つ、今までの振り返って人生のキャリアを年表形式で書き出してみ

てください。どんな時に充実

就職を考えるに当たって、自分を分析してみよう。そうすると、職務経歴書が書きやすくなり、面接試験の準備にもなりま

感を得られたか」を知ることに

「新しいアイデアを提案して周囲に認められた」「奉仕活動で地域の人に喜ばれた」

「今まで身に付けたこと」「プラス(またはマイナス)に作用した自分の考え方、気持ち、外部要因」も一緒に洗い出してみ

ること、自己理解がさらに深まり、就職の場でもしっかり自分を表現できるよ

うになります。これは「ワークライフ・インベントリ」という手法に学んだやり方です。

次に、自分の強みと弱みを検証してみよう。企業が経営戦略や経営計画を策定するときの「SWOT分析」を応用することができ

次に、自分の強みと弱みを検証してみよう。企業が経営戦略や経営計画を策定するときの「SWOT分析」を応用することができ

自分の強み。例「性格が明るい。人の話を傾聴できる。W(Weakness)自分の弱み。例「損益計算書など数字は苦手。感情が先走って会話が下手」

自分の強み。例「性格が明るい。人の話を傾聴できる。W(Weakness)自分の弱み。例「損益計算書など数字は苦手。感情が先走って会話が下手」

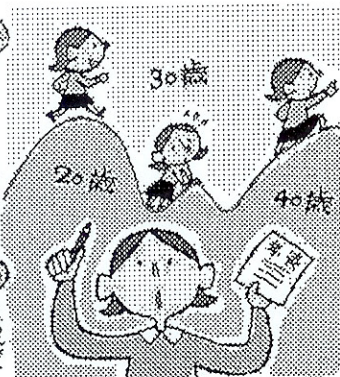
自分の強み。例「性格が明るい。人の話を傾聴できる。W(Weakness)自分の弱み。例「損益計算書など数字は苦手。感情が先走って会話が下手」

自分の強み。例「性格が明るい。人の話を傾聴できる。W(Weakness)自分の弱み。例「損益計算書など数字は苦手。感情が先走って会話が下手」

自分の強み。例「性格が明るい。人の話を傾聴できる。W(Weakness)自分の弱み。例「損益計算書など数字は苦手。感情が先走って会話が下手」

自分の強み。例「性格が明るい。人の話を傾聴できる。W(Weakness)自分の弱み。例「損益計算書など数字は苦手。感情が先走って会話が下手」

自分の強み。例「性格が明るい。人の話を傾聴できる。W(Weakness)自分の弱み。例「損益計算書など数字は苦手。感情が先走って会話が下手」



木更史

O(Opp)

「木曜日」に掲載します

Ortunity)機会。自分の周りにはどんなチャンスがあるか。例「職業訓練の場が身近にある。T(Threat)脅威。自分の周りにはどんな脅威があるか。例「経済環境の悪化から就職戦線の厳しさが増している。」

こうして自分の強みと弱みを知れば、「自分には何ができ、何がやりたいのか、何をすべきなのか」が見えてきませんか。それが就職力を高めていく第一ステップです。

(人材教育コンサルタント 坂巻美和子、イラストは 黒綿キヌエ)